

# 社団法人全日本テコンドー協会

## 総務委員会・議事録

期 日：平成22年10月6・7日

会 場：協会事務局

参加者：総務委員4名

(川杉・許・別府・大谷)

### JOC専任コーチ「謝金」について

#### 委員会開催の目的

#### 「謝金の使途について」

平成21年度収支決算書記載に「JOC支払負担金」453万円とあり、これについて指方事務局長に説明を求めたところ、以下の回答を得た。

- 1, 謝金は、協会からの推薦に基づきJOCから任命された専任コーチ等の活動資金の協会負担分3分の1相当額である。即ち、三分の一が、435万円なので活動謝金総額は、約1,360万円(平成21年度単年度)であることが判明した。
- 2, 協会からは、阪口晃・金井洋の二名が、平成19年度から任命され、20年度から石井直人が加わり、今年度(22年度)は三名である。

専任コーチ	阪 口 晃
トレーナー	石 井 直 人
ジュニアトレーナー	長 野 修 士 (平成22年度から金井と交代)

- 1, 専任コーチ等の推薦は、金原会長の単独専任である。
- 2, 以上の事実が判明したが、この制度そのものは勿論、専任コーチなどの存在すら知る者はいない。総務委員会は、4年間に渡り協会内での周知も同意も無い現況に重大な問題として一致した。